

研究実施のお知らせ

山梨大学医学部では、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 29 年 5 月 30 日施行）に基づき、匿名化された既存試料・情報（診療録等）の研究利用について、以下に公開いたします。

研究の題名：匿名化試料を用いた小児白血病の研究

研究期間：医学部附属病院長の許可日～2028 年 3 月 31 日

研究責任者：山梨大学医学部小児科学講座 教授 犬飼 岳史

【研究の目的と意義について】

近年、小児白血病の治療成績は大きく改善しましたが、一方、依然として治療が難しい症例が存在するだけでなく、長期に及ぶ化学療法や造血幹細胞移植などによる副作用の問題から、より安全で治療効果が高い治療法の確立が求められています。今回我々は、匿名化された白血病および悪性リンパ腫等の小児血液腫瘍の臨床保存検体を用いて、多角的に研究を行い、小児血液がん細胞の特性を明らかにすることで、その成果を新たな治療の手掛かりとして応用することを目指すものです。

【研究の方法について】

当科の研究室に凍結、保存されている白血病およびリンパ腫の細胞を用いて、以下のテーマについて研究を行います。

- 1) 白血病およびリンパ腫の細胞の免疫細胞に対する感受性の解析
- 2) 新たな分子標的療法の確立を目指した解析
- 3) 骨髄間質系細胞の抗腫瘍剤感受性への影響の解析
- 4) 白血病のもととなるがん幹細胞の解析
- 5) 細胞外因子による白血病細胞の増殖・分化抑制の解析
- 6) 染色体転座および付加的な遺伝子異常の解析
- 7) 白血病およびリンパ腫細胞の薬剤感受性に関する解析

なお、本研究での解析はいずれも白血病・リンパ腫細胞を対象とするものであり、サンプルに混入する正常細胞を分離して研究の対象とするような解析は一切行ないません。

【利用する情報について】

〈対象となる患者さん〉

2001 年 3 月 31 日以前に、「連結不可能匿名化試料を用いた小児白血病の細胞・分子遺伝学的な特性に関する研究（承認番号 517）」において残余検体・既存情報を収集し、当科において試料が保管されている小児白血病・リンパ腫の患者さん

〈利用する情報・項目〉

情報：診療録情報、検査データ

試料：血液、髄液、リンパ節

【試料・情報を利用する者の範囲について】

この研究において取得する試料・情報の利用者は、本学医学部小児科学講座の研究者のみです。

【資料情報の管理】

山梨大学医学部小児科学講座 教授 犬飼 岳史

【利用に関する対応】

本研究についての質問等を研究責任者にすることができます。ただし、匿名化されたデータとなっていますので、個別に利用の制限等を行うことは困難です。

【研究対象者もしくは代理人の方の問い合わせ方法】

本研究に関するお問い合わせは、メール又はファックス等の文書でお願いいたします。

〒409-3898 山梨県中央市下河東 1110

山梨大学医学部小児科学講座 合井 久美子

メール：kgoi@yamanashi.ac.jp

ファックス：055-273-9606